

宮代町立図書館協議会 指定管理業務

令和7年度 期末モニタリング用 図書館協議会アンケート（全体集計）

第2次図書館ビジョン

1. 利用しやすさ（利便性）の向上

- ア 開館時間の見直し（★）
- イ 館外サービスの充実（★）
- ウ 資料検索、リクエスト、貸出サービス等の改善・充実（★）
- エ 開館（休館）日の見直しの検討

※（★）：特に重点的に取り組むべき課題（第2次図書館ビジョン）。以下同じ。

■評価 良好4 ・ 概ね良好4 ・ 努力（改善）を望む2

■理由・ご意見等

○図書館協議会の席上でも申し上げましたが、コロナ以降貸し出し冊数がかなり減少している点が気になります。1994年の開館以降1998年から2005年の間は貸し出し冊数が50万冊を超えていましたが、それ以後ほぼ減少の一途をたどり、昨年は半分の25万冊を切りました。確かにこの傾向は宮代町だけのことではなく、埼玉県各市町村立図書館全体が減少傾向にあります。図書館活動の重要な指標である人口一人当たりの貸し出し冊数も2007年の13.14冊から昨年度の7.18冊まで減っています。この指標は以前から三芳町について県内2番目の位置をキープしており、県内図書館の中では相対的に優れた活動を行っているといえますが、いずれの数値も半数近くに減少していることに対して、何らかの方策を検討すべきではないかと思えます。

⇒回答等：状況としては、現在の利用者は高齢の方が多く、コロナ以降ヘビーユーザーだった方の来館がなくなり貸し出しが減っているように見受けられます。対策としては、引き続き子供の読書習慣をつけるためのブックトークや、らんどせるブック（スタッフによる学校支援）を継続します。また、館内では幅広い世代に参加していただけるような利用者参加型の「おススメ本紹介」等をおこなっていきます。

○ア、エ：開館時間や休館日に関しては、今までも検討されてきての現行で良いと思えます。

ウ：資料検索、リクエスト、貸出サービスについても丁寧で迅速な対応をされていると思えます。

○ア：閉館時間の見直しを提案します。例えば、夏時間・冬時間に分けて設定する。

イ：和戸地区に住んでいますが、高齢者に近づき図書館が遠くになりつつあります。ブックポストや小学校の一室（空き教室）を借りて宮代図書館の分室として使用させていただいたらいかがでしょうか。

⇒分室は予算、人員が不足しています。和戸方面のブックポストは懸案事項ですが設置可能な施設がありません。須賀小学校再整備は地域拠点としての図書室が設置される予定ですが、資料の貸し出し、予約本の受け取り、返却等ができるか現時点では不明です。この拠点へのブックポストの設置も不明です。

○イ：館外サービスの内、返却サービスはブックポストで補われているが、ウの貸し出しサービスの改善・充実には含まれていない。（予算人員的に困難とのこと）

厳しいことを言うようで恐縮ですが「返却」の前に「貸出」が成されなければ「利用しやすいの向上」は見込めないのでは？

質問3—イの電子資料の利用促進、質問4の来館困難者向けサービスを館外サービスと捉え、何としても貸出しサービスの改善・充実に努力されることを願います。

⇒館内のWi-Fi環境が強化されたのでパスワードがなくても電子図書館の利用が可能になりました。また、社協が取り組んでいる日工大情報ボランティアによる「PC・スマホなんでも相談会」について図書館を会場として実施することになり日程調整中です。その際、電子図書館の利用や操作方法をメニューに盛り込むことになりました。来館が困難な方へのリーチができていないので社協、高齢担当、福祉担当、地域包括支援センター等と連携し、宅配等できないか検討していきます。

○ブックポストが自宅の近くに出来て、すごく便利になった。出来るだけ多くの場所に設置してほしい。

⇒ブックポストは増やす予定はありませんが、須賀小学校再整備により設置可能か検討します。

○電子書籍講習会の要望を実現なされているところが素晴らしいです。電子利用が増える中、時代のニーズに的確に对应していると思います。

第2次図書館ビジョン

2. レファレンスサービスの充実と利用促進

ア 相談窓口（スタッフ）の設置（★）

イ 利用の促進（★）

■評価 良好5 ・ 概ね良好4 ・ 努力（改善）を望む1

■理由・ご意見等

○宮代町立図書館は今年の5月に国立国会図書館のレファレンス協同データベースの参加館になりましたが、現在までに事例を挙げていないようです。今回レファレンスの事項調査が188件会ったとの報告がありましたので、どんな事例でも積極的に挙げていただければと思います。

○ア：相談窓口のスタッフも常時配置されていますし、丁寧な対応をされていると思います。

イ：利用者の興味をひくような様々なテーマでコーナーの特集をされていますが、展示に工夫がしてありとても良いと思います。今特集されている歌舞伎・落語の特集も切り絵や言葉の由来などの掲示で利用者の目をひくように工夫をされていて素晴らしいと思います。二ヶ月に一回入れ替えをしているということも感心させられます。来館者の目も楽しませてもらえ、新鮮さも感じられる他館ではなかなか見られないコーナーと思います。これからも引き続きよろしくお願いいたします。

- イ：窓口でのスタッフの方々が手際よく答えている様子に感心しています。窓口の方、全員でフォローし合って答えて下さるので頼もしいです。
- スタッフの接遇が利用者に好評。以前にも増して、気軽に相談できる雰囲気がある。
- レファレンスの事例一覧表を作り、利用者の目につく場所に置いて頂けたら参考になると思うのですが。
- ⇒レファレンス協同データベースの参加館になりましたが、正確性を期すため、また手続きが煩雑（参考URL等の提供元への確認）である等、時間を要することから当面は図書館のみの閲覧にしています。ただし、参加館になったことで他館と情報共有ができました。ありがとうございました。レファレンス事例の一覧の公開については、スタッフ内で共有している文書はありますが利用者向けとしていません、公開するなら表現の修正や手直しがあるので困難です。医療系のパスファインダーは配架しています。

第2次図書館ビジョン

3. 利用者ニーズ・地域課題に対応した資料収集

- ア 多様な情報資料の蓄積と提供（★）
イ 電子（デジタル）資料の充実と利用促進（★）

■評価 良好2 ・ 概ね良好8 ・ 努力（改善）を望む0

■理由・ご意見等

- 最近が高齢者の滞在型利用も増えていると思います。新聞が2誌増えたことは良かったと思います。またそうした方たちに、例えば電子書籍を館内で利用して貰うことはできないでしょうか。
- ⇒館内のWi-Fiにつなげればパスワードなしで利用できます。
- ア：新聞も二社増やしていただき、また郷土資料館と連携して地域の情報発信に務められていると思います。
- イ：電子書籍が年々増えておりますが、まだ知らない方が多い様に思います。アンケート等により、認知度と使用したことがあるのかの結果により、また考えたらいかがでしょうか。
- ⇒電子図書館の利用は紙に比べて少ないが、来館が困難な方へのサービスにもなっているので、周知と利用促進を図っていきます。
- ア：多様な情報提供が郷土資料館を含め他の館との連携や相互教育で成されている。
- イ：電子資料の充実～具体的な在庫状況は6月の蔵書統計で判りますか？利用促進に関しては今年度実施の体験会を継続して頂きたいのと他の具体策も考えてほしい。例えば、図書館の未登録者にアピール「図書館ではこんな事業もあるんですよ」デジタル利用も出来ることを町公報掲載などで周知して貰うとかはどうですか。

⇒体験会は継続します。また社協と日工大情報ボランティアによる「PC・スマホなんでも相談会」でも電子図書館をアピールします。

○産経新聞と東京新聞を購読したのは良かったと思います。スマホの普及に伴い、電子書籍が当たり前の時代に来ていると思われます。利用者のニーズに応えられるよう、一層の研鑽をお願いします。

○購読されている新聞社が新たに増えた。新聞の世帯購入が減少する昨今で、図書館という読める場があることはよいと思います。

第2次図書館ビジョン

4. 高齢者、障がい者向けサービスの充実

ア 高齢者向けサービスの充実（★）

イ さまざまな障がいに対応したサービスの充実（★）

ウ 来館が困難な障がい者や高齢者向けサービスの実施（★）

■評価 良好2 ・ 概ね良好7 ・ 努力（改善）を望む1

■理由・ご意見等

○先日の協議会でお持ちした『特別支援学校での読み聞かせー都立多摩図書館の実践から 増訂版』（東京都立多摩図書館 2024）は、特別支援学校などでの実践を詳細に記した優れた資料です。宮代町立図書館でも、子ども向け行事に協力して下さっている方たちと一緒に宮代特別支援学校に出かけていって、年に何回かはおはなし会を実施していただければと思います。以下リンク

（https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/uploads/special_school_to_reading_and_telling.pdf）

⇒特別支援学校へは、らんどせるブックの案内の時に読み聞かせをしています。

○ア：よみうり回想サロンやバリアフリー映画会の実施をされて高齢者へのサービスに務められたと思います。

○ア：高齢者、障がい者向けサービス、点字本、大型本、朗読等のサービスは良いと思います。

イ：さまざまな障がいがあり、それぞれに向けたサービスとは多種多様に渡り、図書館の対応には限りがあると思います。その方法の一つとして町の福祉課と相談しながら、図書館として何ができるのか模索してみる。

ウ：絵本の会ボランティアの方が六花に入院中の寝たきりに近い方々の為に、絵本の読み聞かせに行かれていた事があります。コロナ禍の為に中止中です。（現在）

⇒町の福祉担当等と相談します。

○よみうり回想サロン継続ほか大活字本増冊、施設への団体貸出し等多様な対策実行されている。来館困難者への貸出しサービスを何らかの形で実現する方法で進んで頂きたい。

⇒対象者へのリーチから始めていきたいです。

○高齢者がどんどん増えてきています。ますますバリアフリーが必要になってきます。早め早めに対策を検討して行ってほしいと思います。

⇒BM等、本の出張貸し出しサービスなどは予算的に厳しいです。

○バリアフリーの映画会が実施され高齢者、障がい者向けのサービスに充実に努めている点。利用者も多くいらっしゃるようですね、回数の増加を望む声もあるようですが、人力的等難しい点もあるかと思います。

⇒毎月のライブラリーシアターはバリアフリー対応の作品では字幕を出すようにします。

○バリアフリー映画会とても良いと思います。

○大活字の本を増やしてほしい。

⇒購入はしていますが、2,500円～3,000円と高額なため微増です。

第2次図書館ビジョン

5. 子供の読書活動の推進と小中学校との連携

ア ボランティアとの連携による魅力ある行事の継続開催（★）

イ 乳幼児を連れた保護者向けサービスの推進（読書による子育て支援）（★）

ウ 児童や青少年（ヤングアダルト）の読書活動の促進、図書館利用につながる行事等の継続開催（★）

エ 小・中学校との連携（支援）（★）

■評価 良好6 ・ 概ね良好4 ・ 努力（改善）を望む0

■理由・ご意見等

○子ども向けの行事に協力して下さっている方たちの横の連絡などはあるのでしょうか。年に2回くらいはそうした方たちに集まっていただいて忌憚のないご意見を聞く機会があったら良いと思います。その際、かしんだま文庫の方なども是非参加していただくと良いですね。

⇒年1回ボランティア連絡会をおこなっています。

○ア、イ、ウ：様々な行事をボランティアさんと連携して手を抜かずに実施されていると思いますが、行事の多さや週1回の学校支援を考えると児童担当のスタッフの人数を増やすことを考えられてもいいのではないかと思います。また、行事を選んで（減らして）もう少し児童書を読み込む時間がとれるように・・・レファレンスや選書ができるように、本来の司書の仕事に専念できる時間の確保をお願いしたいです。

児童書に関しては特に選書会議などができるような環境をお願いしたいです。

⇒会議としての時間はとれていませんが、普段から業務の中で意見交換をしています。

○ウ：児童や青少年の来館が減っているように感じます。

スポーツやアニメ関連等の講師を招いての講演会や、映画の催し等は良いと思います。

⇒イベントを増やすことは厳しいですが、児童の来館を促すような働きかけを学校図書館でも案内していきます。

- 「調べる学習コンクール」他 多種多様な行事の継続・ボランティアとの連携・小中学校支援等どれも高く評価され、この項目はこの図書館の大きな強みです。今後行事におけるスタッフの負担の軽減・ボランティアの高齢化や人数減等課題が続々と推測されますが、経験と実力で推進されますように。
- 新小学一年生全員にオリエンテーションを実施し、希望者に「図書館利用カード」「読書通帳」を発行しているが、時期は6月と聞いている。出来るだけ早い時期に実施して頂ければと思います。
⇒5月のオリエンテーション時にらんどせるブックの案内をしています。
らんどせるブックを実施したのち、アンケートの回収、集計等の事務作業があるため最短で6月になります。
- 日頃より町立図書館の支援員の方には大変お世話になっております。
ここ数年においても、校内で一斉読書のような時間は半減、それ以上されている現状です。特に高学年児童(休み時間も何かと忙しいことが多い)の読書意欲を上げるために、どんな工夫ができるか模索中です。図書館(図書室)の公共性を保ちながらも興味を持ってもらえるには、今後も情報を共有させていただきたいです。
⇒学校向け電子図書読み放題があるが予算の関係や児童のタブレット端末の使い方を含めて検討課題です。
- 活字離れしている今だからこそ、子供たちに本の良さを知ってもらいたいと思います。
- 子供図書に対する蔵書数・スペース・内容等は他の図書館よりも充実している。

第2次図書館ビジョン

6. 地域に根差し、住民・利用者とともに育む図書館運営

- ア 専門的職員の配置と育成 (★)
- イ 住民や利用者の交流と図書館運営への参画 (★)
- ウ 情報の公開と発信の強化 (★)

■評価 良好3 ・ 概ね良好5 ・ 努力(改善)を望む2

■理由・ご意見等

- 5,とも関連しますが、学校図書館には常駐の学校図書館司書が不可欠だと思います。職員を増員してでも実現していただきたいと思います。
図書館協議会にかしんだま文庫の方の参加を打診していただけたらと思います。
- ア:専門的職員の育成に関しては、児童のサービスの項と同様ですが、本に接する時間の確保を優先してほしいと思います。研修参加も大切ですが、日々の研鑽にまさるものはないと思います。
実施した行事に関しては、昨年もやったから今年もやるということではなく、本当にやって良かったのか検討してから実施の可否を決めてほしいと思います。
⇒日々の研鑽に努めます。行事を減らすことは厳しいです。行事は毎回反省会を行い改善しています。
- イ:利用者やボランティアの協力の下、図書館を最大限に生かしてほしい。特にポ

ランティアの高齢化が進んでいるので、図書館の協力で新会員の募集チラシを作成にして玄関に置いてあるのは嬉しい限りです。(ボランティアは図書館の宝より)

○スタッフの研修・住民との交流・日工大・東武動物公園・郷土資料館との連携による各種行事の実施、すべてに意欲的。情報公開も広報・HP・X(エックス)活用等努力されている。昨年度モニタリングで提案されていた「東武鉄道の話の会」と「読書会」の継続できれば定例化を希望します。

⇒読書会は継続実施します。

○東武動物公園講演会を7月に予定しているが、盛況が予想されます。希望としては鉄道ファンの子供たち(大人も)かなりおります。次には鉄道会社の講演会をお願いします。

⇒東武鉄道へ講演を依頼する予定です。

○東武動物公園にたくさんの方が参加されたこと。町内児童へのチラシ配布はさすがに難しいですかね？(知っていたら参加の方はもっといるのではないか。)

⇒学校図書室へポスターを貼り告知しました。

○広報紙「みやしろ」に特集ページを組んでいただきありがとうございます。ボランティアさんの励みにもなっている様子でした。

○「持ち寄りレコード鑑賞会」どんな感じなのか写真でもいいから見てみたい。

⇒写真を添付します。

○町として図書館をどうしたいのかははっきりとしたビジョンが見えない。入場者だけを増すのであれば、岩槻区の住民を取り込むようにPRしては。

第2次図書館ビジョン

7. 施設の適切な維持改善と快適な利用環境づくり

ア 施設、設備の改修(★)

イ 既存施設の活用、改修等による飲食、交流スペースの創造(★)

ウ 閲覧、学習スペースの充実(★)

■評価 良好3 ・ 概ね良好7 ・ 努力(改善)を望む0

■理由・ご意見等

○職員出入口の方の敷石がくずれていて大変歩きにくいのを改善していただければと思います。スタッフさんが怪我をしそうで気の毒です。

⇒予算がありません。

○ア：清水館長、はじめスタッフの労力に頭が下がります。ありがとうございます。

イ：飲食コーナー、外の交流スペースは心が休まります。

ウ：静かな環境で良いと思います。

○老朽化一途の施設・設備ですから、ご苦労が多いと思いますが、可能な範囲

で、より一層の創意・工夫をお願いしたい。

⇒努力します。

○時に応じて研修室を学習室として利用出来るようにしたことは、利用者にとっては大変ありがたいことです。今後も継続をお願いします。

○授乳室があったら確かにありがたいと思いますが、限られたスペースの捻出にも様々な苦勞が伴うことが想像つきます。(今はミルクを使用する方も増えてきているのではないですかね)

⇒授乳室は懸案事項です。給湯室内をカーテンで仕切るなど使用できる方法を検討しましたが安全でないこと、また給湯室に扉を設置することも検討しましたが設置費用が高額になるため引き続き講師控室を使用します。

その他の意見

○今年度、石川県金沢県立図書館と山形県キッズドームソライを、個人的に訪れる機会がありました。図書館の角のちょっとした空いているスペースを活用して、個人的に読書できる椅子や机を置いて利用を促したりしていました。また、ソライでは、土管のような筒の中で子どもたちが読書できるようにしていたり、じゅうたんのようなものの上でリラックスした姿勢で読書できるようにしていたりしていました。新鮮なものを感じました。

○・代理貸し出しサービスについて報告がありませんでしたが、利用実態など教えていただけますでしょうか。

⇒現在、代理貸し出しサービスの利用者はありません。

・やさしい利用案内のもくじには漢字のルビがありません。ルビをつけて下さい。

⇒ルビをつけます。

・コミュニケーションボードは利用者から見えるところにありますでしょうか。

⇒登録カウンター前にあります。

○・図書館スタッフの皆さんが、次から次とくる行事の準備に追われながら真摯に仕事されている姿をいつも拝見しています。毎回、協議会のアンケートに書かせてもらっているかと思いますが、もっと落ち着いて選書やレファレンスができるような環境を作ってほしいと思います。スタッフの人数に対して行事が多いのではないかと思います。

・何をやったという目に見えやすい成果より優先してほしい仕事・・落ち着いて選書やレファレンスができる環境が優先される事を願っています。

・洗面所がいつも清潔に保たれ、花もさりげなく置かれ気持ちよく利用できる事に感謝しています。

☆いつも図書館で気持ちよく過ごせることや児童書のおすすめの本選書に関わらせてもらっていることに心より感謝しています。ありがとうございます。

⇒選書が大事であることは認識していますが、日々の業務もなかなか省力化できず難しいです。引き続き業務改善を図っていきます。

- 当初よりの協議員でしたが、色々ありがとうございました。今後も協力はさせていただきます。
- 図書館協議会委員としての4年間大変お世話になりました。近隣市町を含めた、近所の書店の多くが廃業となる最近、地域で書物に身近に触れられる貴重な場所として今後ますますの重要性を持つ場所となっていくと思います。町民が誇れる施設として、また書物においては町民の財産として、益々の発展をお祈り申し上げます。またこれからも一町民として見守っていきたいと存じます。
- スタッフの皆さま、いつもありがとうございます。
- 浅い知識の中での回答大変失礼致しました。学校の枠を超えて、図書館に携わる方々のお考えを知る貴重な機会となりました。協議会に参加させていただきありがとうございました。
- 図書館スタッフのみなさん本当にいつも親切に利用者の方に接しておられると思います。ありがとうございます。今後もよろしくお願いします。
- 図書館に行くたびに館長をはじめスタッフの皆さんがそれぞれの持ち場で一生懸命に仕事をしている姿を見て、本当に頼もしく思います。どうか健康に十分気を付けてますます頑張ってください。健康と幸福を祈っています。
- 宮代町も昨年から書店ゼロの自治体になりました。でも図書館があります。「図書館の価値・役割」を考えてみました。
読売新聞のアンケートによると「図書館利用の目的」は〈趣味・娯楽〉が62%他〈教養〉〈生活に役立て〉だそうです。前提として「本の役割」は〈人生を豊かにしてくれる〉が88%を占め、子ども効果としては〈感性表現力が豊かになる〉〈知識を増す〉が共に77%でした。
本の良さを解っていても図書館来館利用にはつながらない現状ですが〔本を死蔵する倉庫ではなく、公共空間としての様々な人々の学びの場、交流の場「ニューヨーク公共図書館」より〕を目指すことが第一と考え宮代町図書館ビジョン作成時の基本理念を読み直しました。
- ・ブックスタートのボランティアをしています。
乳児の4か月検診時に保健所において、図書館と町で1冊の本をプレゼントする役を担っています。その時に図書館の「子どもの部屋」の小冊子やおはなし会等を紹介しています。お子さんの貸出カードの作成をしていただき、図書館のスタッフより読書通帳を手渡します。この時から図書館とのつながりができたと確信します。そして、すこっと図書館に遊びに来てくださいとプレゼントする本を読んで手渡しします。4か月からの絵本の会、おはなし会(少し大きくなって)いろいろ行事に参加して下さいます。
- ・最近気になる本
新しそうな本でも裏表紙を見ると《しみあり》《汚れあり》の表記が目につきます。とても残念に思っています。窓口のどこかに小さくでも良いので《マナーを守って》とか《本が泣いています》とか標語の様なものでも掲げたらいかがでしょうか。

・協議会の委員をやらせていただいて、とても勉強になりました。図書館の発展をいつまでも見守っていきます。いつでも応援しています。

⇒「しみあり」、「汚れあり」の表記をつけることにより弊害もありますがトラブルの回避になっています。また本の買い替えも行っています。利用マナーの向上を図るため大特集とは別に「本が泣いています」として汚破損本の展示をおこなっています。返却窓口の本の取り扱いについて注意喚起の掲示を貼っています。